

第2回市民懇談会でのご意見

【乗り合わせタクシーの市内全域での運行及び、自主運行バスの見直しをした場合についての意見。】

市内の公共交通について

○市内の公共交通だけでなく、市外への公共交通も確保する必要があるのでは。

—岐阜バスや長良川鉄道などほかの公共交通機関との連携も図ります。

○ボランティア輸送は検討できないのか。

—ボランティアの確保、安全性などの課題があり、市全域での運行は困難かと思われませんが、地域で実施する気運が高まれば支援します。

○他市ではボランティアで対応しているようだが、公共交通は市が対応するよう要望したい。

○学生が便利に利用できるよう、考慮してほしい。

○車に乗れないため説明会に参加できない人や、実際にバスを利用する人の意見を多く取り入れてほしい。

乗り合わせタクシーについて

○乗り合わせタクシーの運行が始まれば、毎日行きたい所へ行くことができるので、大変便利であり、とてもいいことだと思う。

○牧谷地区は高齢者が多く、これから自動車の運転ができなくなる高齢者も増えるため、公共交通の利用者も増加すると思う。

運行について

○なぜ運行時間が午前8時から午後6時までなのですか。

—わっちも乗るCarの時間帯に合わせています。

○運行間隔は30分から1時間ということですが、確実に来てもらえますか。

—混雑時は多少時間がかかりますが、一人でも予約があれば運行します。

○岐阜バスや長良川鉄道などの公共交通機関との乗り継ぎができるようにしてほしい。

—乗り継ぎできるよう、計画します。

○市外へ直接行くことはできますか。

—市内での運行となるため、直接市外へ行くことはできません。

予約について

○予約はいつからできますか。

—専用の予約センターで、利用日の1週間前から電話予約を受け付けます。また、乗車希望時刻の30分前まで予約が可能です。

○予約しなければ利用できませんか。また、予約以外の停留所での降車はできますか。

—予約がなければ乗車できません。緊急時を除き、予約した停留所以外での降車はできません。

○帰りの予約は、行きの予約時に同時にできますか。

—行きと帰りの予約を同時にすることは可能です。また、予約後の変更もできます。

○携帯電話を持っていない場合は、どうやって予約すればいいですか。

○病院やお店などが電話予約のお手伝いをしてくれるような仕組みにしてほしい。

—医療機関などには、電話の借用や補助などの協力を依頼していきます。

○1回に何人まで予約ができますか。

—1回に4人まで予約できます。

運賃について

○障がい者への運賃割引はありますか。

—障がい者の運賃は、本人と介助者1人までは一乗車100円となります。

○運賃を100円と300円にした理由は。

—わっちも乗るCarの運賃と同等にして利用促進を図るためです。

○乗り換えについて、例えば、大矢田から美濃和紙の里会館へ行くときの料金はいくらになりますか。

—乗り換えが必要なため、2乗車分の運賃が必要となります。

停留所について

○停留所を増やすことはどの程度可能か。条件など考え方の基本はあるのか。

—わっちも乗るC a rなど既存バス停に加えて、地域の要望による増設を予定しています。今まで停留所が無かった地域を中心に増設をします。

○現在、バイパスにしかバス停がないが、旧道にも停留所を設置してほしい。

—今まで車両の都合で通行できなかったところなどの増設希望が多くあります。増設については、今後自治会との協議を進めながら決定する予定です。

障がいのある方への対応について

○障がい者の利用に対してどう考えているか。車いす利用者は乗車できますか。

—障がいのある方も利用ができます。ただし、介助者の同乗が必要な場合もあります。折りたたみ式の車いすを積むことができるので乗車できます。車いす用のリフトを装着した車両の導入を考えていきます。

経費について

○現行のバス交通に対する美濃市の負担分は、どれくらい削減できますか。

—2,000万円程度削減できると見込んでいます。

車両について

○使用する車両の数と種類はどうなっていますか。

—乗客定員が9人のワゴン型と定員4人のセダン型の車両を4台から6台、配車します。試験運行の結果によっては、増車も検討します。

○車両を乗り降りしやすいように改修できないか。

—今後の利用状況を見ながら乗り降りしやすい車両の導入や改修をしていきます。

運行委託について

○運行する業者はどこになりますか。

—市内のタクシー会社に運行を委託する予定です。

周知について

○利用方法などの周知はどうなりますか。

—利用方法についての説明会の開催やリーフレットの作成・配布などを予定しています。

試験運行について

○試験運行では、利用者の意見や運行に係る問題点などを十分検証してほしい。

○試験運行の実施地区はどのようにして決めたのですか。

—より多くの人の意見を伺うため、わっちも乗るC a r利用者が多い地区としました。

○運行計画（案）と試験運行は同じ計画ですか。

—運行する地域は異なりますが、利用方法や運賃などは同じです。